

## プリント図案を描く

大変残念なことではあるが、アパレル業界では盗作がまかり通っている。

実際に私の所に来る依頼も、過去に何処かのメーカーが作った柄をそのままトレースするような依頼が圧倒的に多い。

もし本当にデザイナー自身がクリエイティブな仕事をしていると自覚しているのであれば、そのような行為は即刻やめるべきである。

かと言って、勿論何もない所から何かを描くということは容易なことではない。

予めアナログ作業でデッサンをしてそれを図柄に置き換えて行く方法は理想的だが、そのようなやり方をしている時間はいくらあっても足りない。

そこで、一つのやり方として、法的に問題なく何かを参考にしながら全く別のものに作り変える方法を紹介したい。

では花柄のモチーフの一つ描いてみたいと思う。

先にも述べてたが何も無い所から描くやり方は

失敗のリスクが大きいので避けるべきだ。

最も手軽な方法としてネットの写真を参考に描く。

予め解像度の高い画像を用意する。

google の画像検索で検索ツールから

サイズを大にすれば良い。



検索した画像を Photoshop で開きフィルターギャラリーから  
アーティスティック→カットアウトを選ぶ。

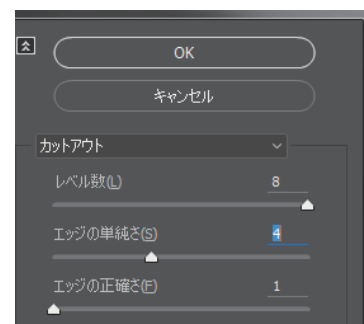
数値は下の画像のように設定した。

必ずこの数値にする必要はないが

レベル数は最大の方が良い

また、エッジの単純さは数値が低すぎるとラインが複雑になり、数値が高過ぎると非常に単純な線になる。

レベル数、エッジの単純さ、エッジの正確さは実際にモニターを見ながら調節する。



下の画像がフィルターをかけた画像だ。

この様にバラの画像でもフィルターをかけることにより、元の画像とは別のものとなる

また、カットアウトは切り絵のような効果があり、この画像のトレースすべきラインが明確になる。

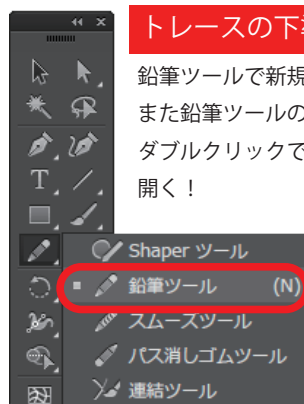
(ここではカットアウトを紹介したが、なぞるラインが明確になれば他のフィルターでも良い。)

### この作業のみ Photoshop で行う

ただし、このままではイラストとして

不自然な部分も出てくるので

この画像を修正しながらトレースしていく。



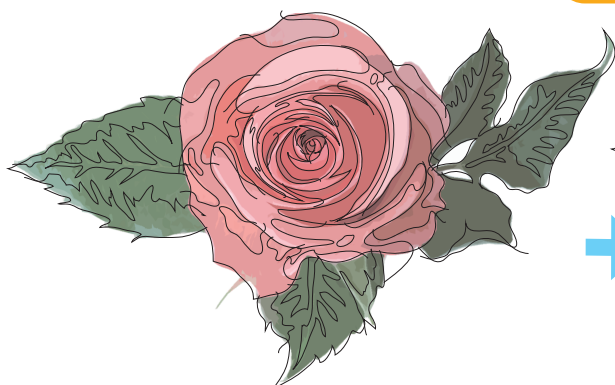
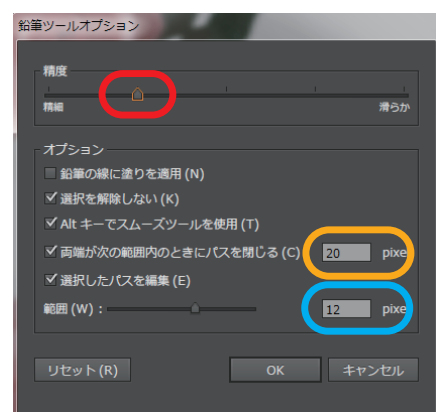
尚筆者の設定は精度は左から 2 番め

20Pixl 12pixl としている

### トレースの下準備は 1～2 ページ参照！

鉛筆ツールで新規レイヤーに線描きでトレースしていく。

また鉛筆ツールの詳細設定は  
ダブルクリックで設定パネルが  
開く！



画像をアレンジしながら  
トレースした。

これで元の画像とは別物になり  
著作権等に触れることはない。

この時大切なのは線が

必ず突き抜けるように  
トレースすることである。